

「口腔管理体制強化加算」届出に関する実績集計手順

「口腔管理体制強化加算の施設基準に係る届出書添付書類（様式17の2）にて記載が必要な算定項目ごとの実績については、palette各種帳票発行の「グループ頻度表（保険処置）」等の集計結果を、転記または参考利用することが可能です。

尚、保険処置頻度表サービスをお申し込みいただいていない場合は、別途、MIC WEB SERVICEにてご利用お申し込み（月額 110円（税込））が必要です。

■ 集計項目について

	R6年5月までの算定項目（※）	R6年6月からの算定項目（※）	届出記載
(1)	歯周病安定期治療・歯周病重症化予防治療	(同左)	1-①
(2)	フッ化物歯面塗布処置・エナメル質初期う蝕管理加算	根面う蝕管理料・エナメル質初期う蝕管理料	1-②
(3)	歯科疾患管理料（口腔機能低下症/口腔機能発達不全症）・小児口腔機能管理料・口腔機能管理料（注）	歯科疾患管理料（口腔機能低下症/口腔機能発達不全症） 小児口腔機能管理料・口腔機能管理料 歯科口腔リハビリテーション3	3
(4)	歯科訪問診療料1・歯科訪問診療料2	歯科訪問診療料1・歯科訪問診療料2・歯科訪問診療料3	5-①
(5)	診療情報提供料(I)	(同左)	6-①
(6)	診療情報連携共有料	診療情報連携共有料1・診療情報連携共有料2	6-②

※）令和6年改正の前と後で集計対象の保険処置項目が異なります。（改正前後の期間で別に集計します）

注） 歯科疾患管理料の算定回数について「口腔機能低下症」「口腔機能発達不全症」の場合のみを集計することはできませんので医院様の状況に応じた参考集計をご案内します。

算定状況により集計方法が異なりますので、下記「**要確認**」内容をご確認の上、集計手順をご覧ください。

要確認 (3) 歯科疾患管理料 集計について

「口腔機能低下症」「口腔機能発達不全症」患者の診療において、歯科疾患管理料と**同時に**「口腔機能管理料」または「小児口腔機能管理料」を**必ず実施（算定）**している場合に限り、口腔機能管理料／小児口腔機能管理料の算定回数の集計数値を歯管回数として代用することが可能です。

Q. 該当患者の歯管算定時に必ず「口腔機能管理料」または「小児口腔機能管理料」を算定していますか？

はい

手順<A>のみ

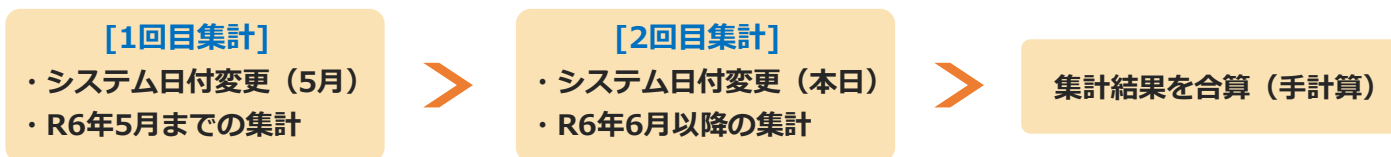
口腔機能管理料／小児口腔機能管理料の頻度集計をおこないます

いいえ

手順<A> +

回数集計不可のため、参考資料として集計で該当病名患者のリストアップをおこないます(3)の記載については、このリストを参考としてください

■ 作業の流れ



例) 9月申請 (R5年8月～R6年7月集計) : 「R5年8月～R6年5月」と「R6年6月～7月」を別集計し合算記載

—作業開始—

以降の作業は繰り返して2回おこないますので、集計前作業(システム日付変更)～集計手順(「Aのみ」または「A+B」)をまず **[1回目集計]** 操作に沿っておこない、その後 **[2回目集計]** 操作をおこなってください。

■ 集計前作業 (システム日付変更)

[メインメニュー]より [メンテナンス業務] > [システム日付の変更] を開きます。

1回目集計 [システム日付の変更]画面 で「**060501**」と入力し [OK(F12)] をクリックします。

2回目集計 [システム日付の変更]画面 で **本日の日付のまま**で [OK(F12)] をクリックします。

■ 集計手順 <A>

(STEP1) 算定項目ごと (集計項目一覧**(1)～(6)**) の出力対象グループを作成

保険処置グループ頻度表

集計期間を指定してください

令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日

出力対象のグループ

項目別頻度表も出力する
 グループの並びを固定にする

発行順を指定してください

回数 点数

ドクター別集計を行う

1回目集計 2回目集計 共通

※ システム日付変更がまだの場合は先におこなってください

1. [メインメニュー]より、[事務室業務] をクリック、[各種帳票発行]より、[グループ頻度表] の [保険処置] を選択します。
2. 「保険処置グループ頻度表」画面 が開きますので、「追加」ボタンをクリックします。

※過去の集計によりすでにグループが作成されている場合も、令和6年6月改正を跨ぐ期間の特別な集計をおこないますので、手順に沿って新たなグループの作成をおこなってください。

■注意■

以下 (1)～(6) の集計グループ作成は、「1回目集計」と「2回目集計」で作業が異なります。
1回目の作業終了後に (1)～(6) 作業を繰り返しますので、はじめに「1回目集計」に沿っておこない、再度おこなう時は「2回目集計」に沿って操作してください。

(1) 「歯周病安定期治療・歯周病重症化予防治療」グループの作成

1 回目集計

※2回目作業時はこの操作はおこないません

- [グループの作成]画面で、[グループ名称]に「(1回目) SPT/P重防」と入力します。
※名称は必ず「1回目」と分かるように入力してください
- 以下の処置を全て検索項目に追加します。
※検索項目の追加方法は、P4【検索方法】参照

[H01677]	200	歯周病安定期治療(1歯以上10歯未満)
[H01678]	250	歯周病安定期治療(10歯以上20歯未満)
[H01675]	350	歯周病安定期治療(20歯以上)
[H01695]	150	歯周病重症化予防治療(1歯以上10歯未満)
[H01696]	200	歯周病重症化予防治療(10歯以上20歯未満)
[H01697]	300	歯周病重症化予防治療(20歯以上)
[H01681]	320	歯周病安定期治療(1歯以上10歯未満)(か強診)
[H01682]	370	歯周病安定期治療(10歯以上20歯未満)(か強診)
[H01683]	470	歯周病安定期治療(20歯以上)(か強診)

- 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックし、次ページ (2) の [1回目集計] へ進みます。

2 回目集計

- [グループの作成]画面で、[グループ名称]に「(2回目) SPT/P重防」と入力します。
※名称は必ず「2回目」と分かるように入力してください
- 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H01677]	200	歯周病安定期治療(1歯以上10歯未満)
[H01678]	250	歯周病安定期治療(10歯以上20歯未満)
[H01675]	350	歯周病安定期治療(20歯以上)
[H01695]	150	歯周病重症化予防治療(1歯以上10歯未満)
[H01696]	200	歯周病重症化予防治療(10歯以上20歯未満)
[H01697]	300	歯周病重症化予防治療(20歯以上)

- 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックし、次ページ (2) の [2回目集計] へ進みます。

グループの作成

グループ名称 (1回目) SPT/P重防

検索項目を指定してください

[H01677]	200	歯周病安定期治療(1歯以上10歯未満)
[H01678]	250	歯周病安定期治療(10歯以上20歯未満)
[H01675]	350	歯周病安定期治療(20歯以上)
[H01695]	150	歯周病重症化予防治療(1歯以上10歯未満)
[H01696]	200	歯周病重症化予防治療(10歯以上20歯未満)
[H01697]	300	歯周病重症化予防治療(20歯以上)
[H01681]	320	歯周病安定期治療(1歯以上10歯未満)(か強診)
[H01682]	370	歯周病安定期治療(10歯以上20歯未満)(か強診)
[H01683]	470	歯周病安定期治療(20歯以上)(か強診)

検索

[H00001]	0	健康診断
[H00329]	0	フッ化物洗口指導加算
[H00367]	0	歯科衛生実地指導料
[H00465]	0	義歯調整
[H00815]	0	スタディモデル(模)
[H00953]	0	口腔機能精密検査
[H00977]	0	有床義歯咀嚼機能検査
[H01046]	0	基本検査表
[H01056]	0	精密検査表

OK キャンセル

グループの作成

グループ名称 (2回目) SPT/P重防

検索項目を指定してください

[H01677]	200	歯周病安定期治療(1歯以上10歯未満)
[H01678]	250	歯周病安定期治療(10歯以上20歯未満)
[H01675]	350	歯周病安定期治療(20歯以上)
[H01695]	150	歯周病重症化予防治療(1歯以上10歯未満)
[H01696]	200	歯周病重症化予防治療(10歯以上20歯未満)
[H01697]	300	歯周病重症化予防治療(20歯以上)

検索

[H00001]	0	健康診断
[H00329]	0	フッ化物洗口指導加算
[H00367]	0	歯科衛生実地指導料
[H00465]	0	義歯調整
[H00815]	0	スタディモデル(模)
[H00953]	0	口腔機能精密検査
[H00977]	0	有床義歯咀嚼機能検査
[H01046]	0	基本検査表
[H01056]	0	精密検査表

OK キャンセル

(2) 「根面う蝕管理料・エナメル質初期う蝕管理料 等」グループの作成**1 回目集計**

※2回目作業時はこの操作はおこないません

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「**(1回目)う蝕管理**」と入力します。

2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H01550] 110 フッ化物歯面塗布処置 (C管理)
[H01551] 110 フッ化物歯面塗布処置 (初期根面う蝕)
[H01552] 130 フッ化物歯面塗布処置 (初期う蝕)
[H00307] 260 エナメル質初期う蝕管理加算

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックし、次ページ (3) の [1回目集計] へ進みます。

2 回目集計

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「**(2回目)う蝕管理**」と入力します。

※グループ名称は任意

2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H00531] 30 根面う蝕管理料
[H00533] 30 エナメル質初期う蝕管理料
[H00532] 78 根面う蝕管理料 (口腔管理体制強化加算)
[H00534] 78 エナメル質初期う蝕管理料 (口腔管理体制強化加算)

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックし、次ページ (3) の [2回目集計] へ進みます。

【参考】検索方法

※ 追加する項目にあわせて検索点数及び選択項目を読み替えてください

例) 「1100点 訪問診療料1」を追加する場合

①[グループの作成]画面で、[検索]をクリックします。

②[項目検索]画面が開くので、[検索文字列]に点数「1100」を入力し「Enter」キーを押します。

③リストから、「[H00401] 1100 歯科訪問診療料1」を

④[グループの作成]画面で、

「[H00401] 1100 歯科訪問診療料1」が追加されたことを

⑤検索設定①～④を繰り返し、その他全ての項目を追加します。

(3) 「歯科疾患管理料（口腔機能低下症/口腔機能発達不全症）・口腔機能管理料等」グループの作成**！ご確認ください！**

「口腔機能低下症」「口腔機能発達不全症」の場合に、歯科疾患管理料と同時に「口腔機能管理料」または「小児口腔機能管理料」を必ず算定している場合に限って必要な設定です。

P1の「要確認」にて、「手順<A>のみ」となった場合は、この**(3)**作業をおこないます。

「手順<A>+」となった場合は、この(3)の作業はせず**(4)**に進んでください。

1 回目集計 ※2回目作業時はこの操作はおこないません

1. [グループの作成]画面で、[グループ名称]に「**(1回目)口腔機能管理**」と入力します。
2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H00523] 100 口腔機能管理料
[H00522] 100 小児口腔機能管理料

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックし、次ページ (4) の [1回目集計] へ進みます。

2 回目集計

※ ここでは、グループを2つ作成します

1. [グループの作成]画面で、[グループ名称]に「**(2回目)口腔機能管理**」と入力します。

2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H00523] 60 口腔機能管理料
[H00522] 60 小児口腔機能管理料

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックします。

4. [グループの作成]画面で、[グループ名称]に「**(2回目)口腔リハ**」と入力します。

5. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H09066] 50 歯科口腔リハビリテーション料3(口腔機能発達不全症)
[H09067] 50 歯科口腔リハビリテーション料3(口腔機能低下症)
[H00301] 10 口腔機能指導加算

6. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリック、次ページ (4) の [2回目集計] へ進みます。

！「歯科疾患管理料（口腔機能低下症/口腔機能発達不全症）・口腔機能管理料」グループ 転記時の注意！

届出書の記載には「歯管(口腔機能低下症/口腔機能発達不全症のみ)」の算定回数が必要ですが、集計ができないため、「口腔機能管理料・小児口腔機能管理料」を同時算定されている前提で、この数値を歯管の回数として合算します。

- ・「(1回目) 口腔機能管理」 ×2 (数値を倍にする)
- ・「(2回目) 口腔機能管理」 ×2 (数値を倍にする)
- ・「(2回目) 口腔リハ」 (これはそのまま)

すべての集計作業終了後に、上記3つの数値を合算して届出書に記載します

(4) 「歯科訪問診療料1・歯科訪問診療料2・歯科訪問診療料3」グループの作成**1 回目集計** ※2回目作業時はこの操作はおこないません

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「**(1回目) 訪問診療**」と入力します。
2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H00401] 1100 歯科訪問診療料1
[H09115] 880 歯科訪問診療料1(20分未満)
[H00402] 361 歯科訪問診療料2
[H09116] 253 歯科訪問診療料2(20分未満)

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックし、次ページ (5) の [1回目集計] へ進みます。

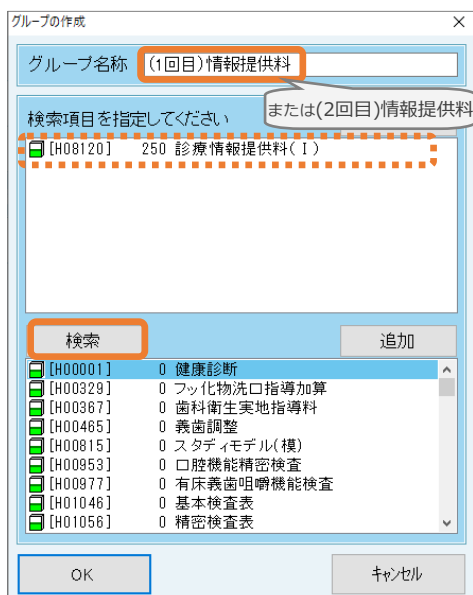
2 回目集計

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「**(2回目) 訪問診療**」と入力します。
2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H00401] 1100 歯科訪問診療料1
[H00402] 410 歯科訪問診療料2
[H09116] 287 歯科訪問診療料2(20分未満)
[H01534] 310 歯科訪問診療料3
[H09117] 217 歯科訪問診療料3(20分未満)

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックし、次ページ (5) の [2回目集計] へ進みます。

(5) 「診療情報提供料（I）」グループの作成



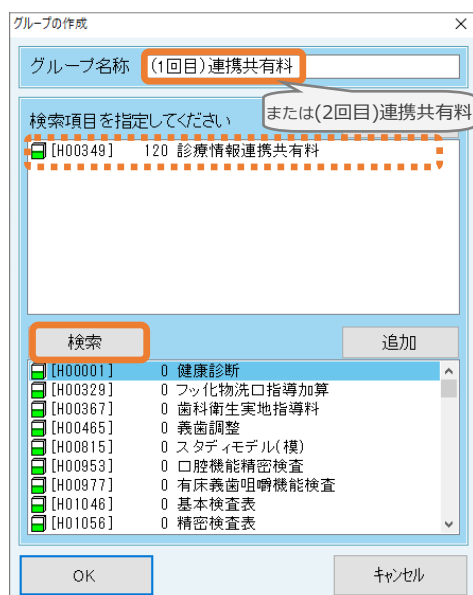
1 回目集計 ※2回目作業時はこの操作はおこないません

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「**(1回目) 情報提供料**」と入力します。
2. 以下の処置を検索項目に追加します。
[H08120] 250 診療情報提供料（I）
3. 項目が追加されたら [OK] をクリックし、(6) の [1回目集計] へ進みます。

2 回目集計

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「**(2回目) 情報提供料**」と入力します。
2. 以下の処置を検索項目に追加します。
[H08120] 250 診療情報提供料（I）
3. 項目が追加されたら [OK] をクリックし、(6) の [2回目集計] へ進みます。

(6) 「診療情報連携共有料」グループの作成



1 回目集計 ※2回目作業時はこの操作はおこないません

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「**(1回目) 連携共有料**」と入力します。
2. 以下の処置を検索項目に追加します。
[H00349] 120 診療情報連携共有料
3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックし、次ページ (STEP2) の [1回目集計] へ進みます。

2 回目集計

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「**(2回目) 連携共有料**」と入力します。
2. 以下の処置を検索項目に追加します。
[H00349] 120 診療情報連携共有料1
[H00508] 120 診療情報連携共有料2
3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックし、次ページ (STEP2) の [2回目集計] へ進みます。

(STEP2) 作成したグループごとの集計**1 回目集計**

保険処置グループ頻度表

集計期間を指定してください

今月 前月 **期間を指定**

令和5年9月1日 ~ 令和6年5月31日

出力対象のグループ

- (1回目) SPT/P重防
- (1回目) う蝕管理
- (1回目) 口腔機能管理
- (1回目) 訪問診療
- (1回目) 情報提供料
- (1回目) 連携共有料

追加
変更
削除
↑ ↓

項目別頻度表も出力する

グループの並びを固定にする

発行順を指定してください

回数 点数

ドクター別集計を行う

OK キャンセル

- [保険処置グループ頻度表]画面 で、[期間を指定] をクリックし「集計期間」を「届出をおこなう1年前の月から令和6年5月31日」に設定し[OK]をクリックします。
※期間設定例：令和6年9月に届出を出す場合
「令和5年9月1日 ~ 令和6年5月31日」
- 「出力対象のグループ」に表示された（STEP1）で作成したグループの中から、**(1回目)**と付いた**6つのグループ名**のみチェックをつけ、その他のチェックを左図点線枠内のとおりを設定し[OK] をクリックします。
- [出力先を選択してください] 画面が表示されたら、プリンタにA4用紙を準備し、[印刷] をクリックしてください。（印刷枚数1ページ）
印刷が完了したら、P2 [集計前作業]の [2回目集計] から再度作業します。

2 回目集計

保険処置グループ頻度表

集計期間を指定してください

今月 前月 **期間を指定**

令和6年6月1日 ~ 令和6年8月31日

出力対象のグループ

- (1回目) 情報提供料
- (1回目) 連携共有料
- (2回目) SPT/P重防
- (2回目) う蝕管理
- (2回目) 口腔機能管理
- (2回目) 口腔ケア
- (2回目) 訪問診療
- (2回目) 情報提供料
- (2回目) 連携共有料

追加
変更

項目別頻度表も出力する

グループの並びを固定にする

発行順を指定してください

回数 点数

ドクター別集計を行う

OK キャンセル

スクロールして確認し(2回目)以外の項目のチェックは確実に消してください

- (1回目) SPT/P重防
- (1回目) う蝕管理
- (1回目) 口腔機能管理
- (1回目) 訪問診療
- (1回目) 情報提供料
- (1回目) 連携共有料
- (2回目) SPT/P重防
- (2回目) う蝕管理
- (2回目) 口腔機能管理

- [保険処置グループ頻度表]画面 で、[期間を指定] をクリックし「集計期間」を「令和6年6月1日から届出をおこなう前月」に設定し[OK]をクリックします。
※期間設定例：令和6年9月に届出を出す場合
「令和6年6月1日 ~ 令和6年8月31日」
- 「出力対象のグループ」に表示された（STEP1）で作成したグループの中から、**(2回目)**と付いた**7つのグループ名**のみチェックをつけます。
- 期間・グループ名称のチェックが正しいことを確認し、その他のチェックを左図点線枠内のとおりを設定し[OK] をクリックします。
- [出力先を選択してください] 画面が表示されたら、プリンタにA4用紙を準備し、[印刷] をクリックしてください。（印刷枚数1ページ）

集計「1回目」の場合は、P2 -作業開始- に戻り、続けて「2回目」システム日付変更から作業をおこなってください。

2回目が終了し、「集計(B)」が必要な場合は、次ページへ進んでください。

「手順(A)のみ」の場合はこれで終了ですので、2枚の集計数値を合算して転記してください。

(「(3)歯管・口腔機能管理料等」の転記時は、P6上部の注意を必ず確認してください)

■ 集計手順

P1の確認で「手順<A> + 」が必要となった場合のみ、この作業をおこなってください。

- [メインメニュー]より、[事務室業務]をクリック、[各種帳票発行]より、[項目検索集計表]を選択します。
- 以前に項目検索集計を利用している場合は、検索項目の枠内にすでに何らかの項目が表示されていることがありますが、すべて削除し左図のように空欄にしてください。
(項目をクリックし右上[削除]クリックで削除可能)
- 項目リスト上側の「保険処置項目」をクリックし、「病名
- 病名項目リストから、「口腔機能低下症」と「口腔機能発達不全症」をそれぞれダブルクリックします。
※リストはアイウエオ順に並んでいます
- 上部枠内に、「口腔機能低下症」と「口腔機能発達不全症」の2項目が表示されたことを確認します。
- [期間を指定] をクリックし「集計期間」を”届出をおこなう月の前月から1年間”に設定し [OK] をクリックします。
※期間設定例：令和6年9月に届出を出す場合
「令和5年9月1日～令和6年8月31日」
- [出力先を選択してください]画面が表示されたら、[プレビュー] をクリックし、印刷する場合は、画面左下の総ページ数を確認後、プリンターに必要な用紙をセットし印刷してください。
- リストには、「口腔機能低下症」と「口腔機能発達不全症」病名が入力された患者が表示されますので、この内容を参考に、届出書項目(3)(歯管、口腔機能管理料、小児口腔機能管理料、口腔機能指導加算、歯科口腔リハビリテーション料3)の算定回数について記載内容をご確認ください。

～ 以上で作業は終了です ～

手順<A> で作成した2枚の集計表結果を合算し、転記するとともに
手順 を参考に口腔機能管理に関する実績を記載してください。